

## 南丹市立八木西小学校

## にほんぶよう 日本舞踊

八木西小学校は、学校教育目標「ふれあって 未来に輝く 八木西っ子 ～自ら動き出す子をめざして～」をもとにした教育活動を推進しています。

特に、学校・家庭・地域が一体となり、子ども一人一人が心身ともに健康で安心して生活ができ、「笑顔と歌声があふれる学校」づくりに主体的に取り組める『地域とともにある学校』をめざして豊かな体験学習の充実を図っています。

今回、「文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－」を活用し、公益社団法人日本舞踊協会の方々による実技指導をとおして、高学年児童は浴衣を着て日本舞踊の基本的な所作（動き）に関するワークショップを体験するとともに、全校児童が日本舞踊の代表的な演目、長唄「連獅子」鑑賞しました。また、生演奏による踊り体験も実施しました。

本事業の体験により、「音楽科」の指導の充実だけでなく、児童の日本舞踊をはじめとした日本の伝統文化に対する興味関心が深まりました。

### 日本舞踊

日本舞踊は、主として歌舞伎から発達した芸能です。バレエなどと同様に、リズムと動きの織り成す躍動感や動きから見える心象表現に魅力があります。

一方で日本舞踊は、伴奏音楽に歌詞があり、その歌詞の内容を身体で表現している点に一つの特徴があります。また、武士や白拍子、町娘などの役柄を踏まえて演じられるところにも特徴があります。

音楽に言葉が付くことにより表現の幅が広がり、例えば月や山なども、身体や衣裳、小道具を用いて情趣豊かに表すことができるのです。



# 文化を学ぶ



5・6年生の児童は、9月27日に公益社団法人日本舞踊協会の方々による実技指導を受けました。

始めに、日本舞踊の歴史について講義を受け、次に、浴衣の着付けや日本舞踊の基本動作（お辞儀の仕方、すり足、首の振り方など）を学んだ後、手本を見ながら扇子の使い方などの一つ一つについて、丁寧に指導いただきました。



## 児童の感想

日本舞踊の基本を教えていただいて、背すじをのばした正しい立ち方や、正しい座り方などについて初めて教わるばかりでした。これは、日常生活で使えることだと分かったので、毎日心がけて生活したいです。



扇子を使って桜の花や波の動きを表現していることを教えていただきました。

ゆっくりとした動きで山を表現したり、みこしなども表現できることを知って、その場にはないものを扇子一つで表わせることがすごい文化だなあと感じました。



巡回公演の最後には、ワークショップで習った演目の踊りをしました。ゆっくりとした動きが難しかったけど、しっかりできたと思います。日ごろから姿勢に気をつけて、立ち方や座り方をきれいにしたいなと思いました。



南丹教育局管内の小・中・義務教育学校における伝統文化に関する取組を、「体験！伝統文化」として南丹教育局ホームページに掲載しています。

南丹教育局ホームページ

<http://www.kyoto-be.ne.jp/hantan-k/oms/>

南丹教育局

検索

